

安全・安心のために…

公営企業局の仕事

365日、24時間蛇口をひねると、いつも出てくる水。それが「当たり前」であり続けるために、私たち公営企業局の職員は、日々努力しています。今回はさまざまな公営企業局の仕事の中から、一部をご紹介します。



安全な水道水のために、がんばっています。

水質管理担当の「清水さん」の仕事について詳しく紹介します。皆さまに安全でおいしい水道水をお届けするため、水源から蛇口までの徹底した水質管理は不可欠です。

検査



水質管理担当 清水さん
市之井手浄水場内にある水質管理棟に勤務しています。生物技師です。
公営企業局の水質管理担当になって、今年度で4年目です。大学時代の専門は、貝(カタツムリ)の研究。市役所に入所してからは、環境指導課で水にかかわる業務を担当するなど、長年「水」とは切っても切れない関係です。



▶浄水場では毎日、原水(浄水処理する前の水)と浄水(浄水場で作った水道水)について、臭いを嗅いだり、色を見たりして、異常がないかどうかを職員が確認しています。
人間の感覚は、いろいろな臭いを嗅ぎ分けることができたり、微妙な色の違いを識別できたりと、とても優れています。水質検査では、顕微鏡や分析計といった精密検査機器を使っていますが、経験を通じた職員の五感もひとつの精密機器と言えます。



▶プランクトンの中には、浄水場のろ過池をつまらせたり、水に臭いを付けたりする種類があります。
顕微鏡でダムの水などを観察して、このようなプランクトンがないか調べています。



水道管路管理センター 新さん



仕事内容は?
漏水や給水装置の故障など、お客さまの連絡により、現地を確認し、修理や調査を行っています。お客さまからの連絡は年間2千件以上になりますが、24時間365日、いつでも対応できる体制を取っています。

大変なことは?
漏水事故など、緊急時の対応は、決められたことをして、いければ良いというのではなく、現場の状況に応じた対応を求められるため、多くの経験やさまざまな知識が必要で、間違えた指示や判断をしてしまつと、お客さまに漏水などのご迷惑をおかけするといった結果につながり、まづため、常に気を抜くことがなく、業務に取り組むことが必要です。

やりがいは?
時間を問わない急な呼び出しや、気が抜けない現場での対応など、大変なことはたくさんありますが、お客さまにご迷惑をかけることはありません。お叱りを受けることもありますが、また、漏水調査やパトロールなどは、時間と根気が必要とする地道な作業です。しかし、こういった取り組みは、安全な水道を守っていくために必要なことであり、大変さ以上にとてもやりがいを感じています。

仕事内容は?
水道事業には地震対策や水質改善、老朽化してきた施設や水道管の計画的な更新など、課題が山積しています。これらもより安全で安心な水を安定してお客さまのもとへお届けするために、10年後、20年後の水道のあるべき姿(青写真)を描き、松山市の水道に関する全般的な将来計画を作っています。

大変なことは?
より実効性のある計画にするためには、課題や関係法令をしっかりと理解し、地元住民の方々と、実際に工事の実施や維持管理をする担当部署と協議を重ねて、計画を練り上げなければなりません。また、限られた資金を有効に活用しながら着実に成果を上げるため、専門知識や経験など、自分に不足する部分は先輩に聞いたり、資料を調べたりして日々勉強しています。

やりがいは?
計画を練っていく過程では、関係部署との調整など、困難な点もたくさんありますが、だからこそやり遂げた時の達成感は一ひとあつて、また、自分の手掛けた計画が事業化されて、実際に形になると、自分も水道事業の一翼を担っているという実感がわいてきます。

企画総務課 企画担当 奥野さん

仕事内容は?
水道事業には地震対策や水質改善、老朽化してきた施設や水道管の計画的な更新など、課題が山積しています。これらもより安全で安心な水を安定してお客さまのもとへお届けするために、10年後、20年後の水道のあるべき姿(青写真)を描き、松山市の水道に関する全般的な将来計画を作っています。

大変なことは?
より実効性のある計画にするためには、課題や関係法令をしっかりと理解し、地元住民の方々と、実際に工事の実施や維持管理をする担当部署と協議を重ねて、計画を練り上げなければなりません。また、限られた資金を有効に活用しながら着実に成果を上げるため、専門知識や経験など、自分に不足する部分は先輩に聞いたり、資料を調べたりして日々勉強しています。

やりがいは?
計画を練っていく過程では、関係部署との調整など、困難な点もたくさんありますが、だからこそやり遂げた時の達成感は一ひとあつて、また、自分の手掛けた計画が事業化されて、実際に形になると、自分も水道事業の一翼を担っているという実感がわいてきます。

清水さんのある一日

出勤	8:30	出動
採水	12:00	昼食
検査	13:00	検査
運動	17:15	出勤

午前中に採ってきた水の検査をします。検査機器を稼働させるための準備をした後、水に熱を加えたり、薬品を入れたり、ろ過をして水を濃縮したりと、さまざまな物質や生物に合わせた方法で検査をします。

業務終了の時間は毎日異なります。18時くらいになることが多いです。

清水さんから一言

— 大変なことは? —
顕微鏡でプランクトンの検査をするときは、400オマスに一定量の水が入る専用のプレパラートを使います。そのオスを一つずつ観察するのは、長時間レンズをのぞき込み、根気が必要となる大変な検査ですが、自分の目と知識と経験を生かし、検査機器ではできない生物技師ならではの仕事だと思っています。

— 仕事に対してのやりがいは? —
大雨で河川が濁つたときなどの緊急時には、夜間や休日でもすぐに出勤し、きめ細やかな水質のチェックをします。気が抜けない仕事ですが、その分やりがいもあります。
また、自分が生まれ育った松山で、水道水の安全性を管理するという仕事をしていることは、大きな責任を感じるとともに、やりがいにもなっています。

お客様対応グッズ

- 残留塩素計
- 臭気ピン
- 比色管 (水の色の濃さを比べます。)
- ミニ顕微鏡 など

お客様から水質に関する連絡があった場合、電話相談や現地調査を行います。

— PRしたことがあります。 —
安全な水道水を皆さまにお届けするため、毎日水質検査をしています。暮らしに欠かせない水道水ですので、失敗は許されません。日々細心の注意を払いながら働いています。
うちの二人の子どもが生まれたとき、粉ミルクを溶かすのに使ったのは、すべて温めた水道水でした。松山の水道水は水源の水質が良く、適度なミネラルを含んだ軟水で、赤ちゃんのミルク作りにも適しています。皆さん、安心して松山市の水道水を飲んでください。